

令和7年第4回笠間市教育委員会定例会議事録

1 招集日時 令和7年4月22日（火） 午後3時30分開議

2 招集場所 笠間市役所教育棟 教育委員会室

3 議事録署名人 吉 崎 静 夫

4 教育長及び出席委員

教育長
教育委員 3名
事務局 13名

5 傍聴人 なし

6 提出された議題（議事） 以下のとおり

7 会議の概要

（1）開会

小沼教育長 午後3時30分開会を宣す。

（2）議事録署名人の指名

小沼教育長 吉崎委員を指名する。

（3）教育長の報告

小沼教育長 別紙により教育長事務報告をする。

小沼教育長 教育長のお事務報告が終わりました。委員の意見を求めます。

鳥羽田委員 4月17日に実施された、早稲田大学の吉村先生の授業研究は、どのような内容か教えてください。

小沼教育長 体育科のアンケートになります。吉村先生が児童生徒に対して、体育の授業が面白いのか、運動量がどのくらい確保できるのかという研究を行っており、そのサンプリングのために、3年間、早稲田大学に提供しています。今後も連携ができないかということでお願いに来ています。吉村先生は、水戸市出身のまだ若い先生で、早稲田大学の先生でありながら、体育の授業や市町村の教員もや

りたいという話でした。

鳥羽田委員 県外もいくつかサンプリングされているのですか。

小沼教育長 水戸市と笠間市だけです。

鳥羽田委員 わかりました。

小沼教育長 ほかにございますか。

各委員 (特になしの声)

小沼教育長 それでは、教育長の報告については、以上のとおりとします。

(4) 議事

小沼教育長 それでは、議事に入ります。本日の議事「報告第4号」から「報告第6号」については、人事案件となりますので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項の規定に基づき、審議を非公開としたいと思いますがいかがでしょうか。

各委員 (異議なしの声)

小沼教育長 それでは、異議なしと認め、「報告第4号」から「報告第6号」、の案件を非公開といたします。

【報告第4号】【報告第5号】【報告第6号】

小沼教育長 それでは、非公開の案件が終了しましたので、会議の非公開を解除いたします。

小沼教育長 以上ですべての議事が終了いたしました。

(5) その他

小沼教育長 続きまして、その他の事項に入ります。それでは、一人ずつ雑感を共有していただきたいと思います。まずは吉崎委員からお願いします。

吉崎委員 現在私が研究している、生成AIを活用した授業改善についてお話しします。対象とした授業は、愛知県の小学4年生が行うビオトーププロジェクトです。自然に近い形でビオトープを再生した

いという4年生たちの実践です。学年全体で44名いる児童が、4グループに分かれてプロジェクトに励んでいました。その中の教職3年目の先生のグループは、近くの川を調査して、その水辺の様子からビオトープ再生に役立てる調査研究をしていこうということで、どのような計画で行ったらよいかという話し合いをしていました。話し合いの後、児童に振り返りをさせると、途中で脱線してしまった、計画は立てたけれども実際は具体的な内容にならなかった、個人的なものでずっと学習してしまった等の回答がありました。その結果を見て、この授業のどこに課題があったのか、その課題を解決するにはどのような手立てをとったらよいのか、という授業改善を先生に検討してもらいました。その後生成AIに、この授業の概要と児童の反応を少し書き込み、課題とその課題を解決する方法を質問しました。これをプロンプト（生成AIに指示や質問などを入力する際、何をしてほしいのかを具体的に伝えるための入力文のこと。この内容により、生成AIの回答が大きく変わるため具体的な指示を与えることが重要）といいます。その生成AIの回答が大変的確で、非常に具体的な改善案が出てきました。それを踏まえて、先生にもう一度授業を見直してもらったところ、新たな学習課題に気づいたり、具体的な授業改善の手立てを作ったりと、最初の検討内容から見事に改善されて大変驚きました。私の知人で、小中学校の教頭校長や管理主事、大学の准教授などを歴任し、現在は学校経営アドバイザーをしている共同研究者がいるのですが、この生成AIの回答は、指導主事レベルのアドバイスかそれ以上の回答だと言っています。私も同様の意見です。日本の指導主事が優秀なことはわかっているのですが、この結果を見ると、授業改善の方法を考えるにあたって、生成AIを活用することは非常に有効であるということがわかりました。現在、学習指導要領の改善が議論されていますが、質の高い教師、質の高い授業が最大の問題になります。同時に教育委員会では、指導主事の充実が大きな課題となりそうです。現在は、改善案を議論していく研究授業や、指導主事の先生にみてもらう授業は年に2～3回が通常です。これでは授業力向上は望めませんので、自分で授業を振り返り、改善の方法を考えていくためには、生成AIを活用していくことが、非常に有効になるのではないかと思います。これは、授業改善の道路をアシスト自転車を使って走るようなものだと考えています。教師が主役ですが、生成AIは有力な手助け者になりうると思います。愛知県のほかにも取り入れているところが出てきていますので、笠間市でも十分できると思います。

事務局 授業改善は必須だと思いますので、有効な手立てになると思います。

吉崎委員 生成A Iはプロンプトによってだいぶ回答が変わってきます。ただ、今の生成A Iのレベルは急激に有能になってきており、的確・具体的で、指導主事レベルです。私も実際行ってみて、非常に驚きました。指導主事の先生方も、一度やってみると驚かれると思います。

小沼教育長 3月に授業研究を行いました。今後も定期的の実施していきたいと思っています。

事務局 三大A I以外にもいろいろなサービスが出てきています。教育委員会でも生成A Iの活用を進めると同時に、中には危険なものもあるのが現状です。取捨選択の情報収集を常に行っていかなければいけないのと、生徒の個人情報を扱うこともありますので、サービスの選定を慎重に行わなければいけないと考えています。

吉崎委員 その通りだと思います。もう一点言いますと、現在日本で一番難しいと言われている東京大学理科Ⅲ類の入学試験をC h a t G P Tで受けたところ合格しました。最難関の入試を克服したということで、教育界も驚いています。将棋の世界などでわかったことですが、かなりのものが解決できてしまうということです。この進歩は侮れない状況に来ていますので、いかに賢く付き合うかということを考えていかないといけない状況に来ていると思います。

小沼教育長 指導室主導で、指導主事の研修などでも活用してもらえようお願いします。

小沼教育長 続いて、廣原委員お願いします。

廣原委員 今年新たに採用された先生や異動してきた先生、新しく管理職になられた先生方は、良いスタートを切れたのでしょうか。4月は非常に忙しいので、先生方もよいスタートが切れていたらいいなと願いながら、子どもたちの登校を見ていました。いかがでしょうか。

事務局 指導室でも心配していましたが、新採の先生も、異動してきた先生も、不適を起こす事案は起きていません。皆さん前向きに勤

務しています。さらに今年度から、笠間市内全校で、4月の間5時間授業日課に取り組み、ゆとりを持ったスタートが切れているのではないかと思います。

廣原委員 わかりました。

小沼教育長 最後に、鳥羽田委員お願いします。

鳥羽田委員 5月に入ると修学旅行の時期になりますが、物価高騰やインバウンドの増加などで、スムーズな修学旅行が実施されているのか心配をしています。宿泊料金の高騰、移動手段のタクシーの確保など、修学旅行をスムーズに実施する環境が難しいのではないかと思います。実際はどのようなになっているか、教えてください。

廣原委員 今年の3年生は1年時に、旅行会社から提案された行程の中から選び、事前に金額も提示されていると思います。ただ、子どもたちが自由にとる食事など、家庭が負担する部分はプラスになるかもしれません。

鳥羽田委員 修学旅行の費用は、1年時の見積で行けるのですね。やはり、費用も上がっているのでしょうか。

廣原委員 はい、費用自体は上がってきていると思います。ただ、大きい学校と小さい学校では、一人にかかる負担金額は変わってくると思います。

鳥羽田委員 不都合がなければいいのですが、今後も関西方面への修学旅行を継続していくのは、状況的に厳しいと思っています。保護者は「修学旅行は関西」という頭の切り替え、先生は十分な資料を集め検討していく時間がとれるのか、と考えると、見直しをするのは難しいのかなと思っています。見直しをするのであれば、学校に任せるのではなく、数年かけて市全体でフォローをしていく形をとらないと難しいと思います。

廣原委員 1年時の業者説明会には、保護者も一緒に参加していると思います。確かに、旅行の積立金額は以前に比べて上がっていると思います。

鳥羽田委員 一部の自治体を見ると、一泊にしているところもあるようですし、自治体が補助しているところもあるようです。費用が非常に

高くなった場合、補助できるような制度があれば利用していくということも考えられると思います。特別支援学級は、就学奨励費で就学旅行費の補助が出ていますね。

仁平学務課長

出ています。特別支援学級にかぎらず、経済的困窮世帯にも、中学校で7～8万程度補助しています。

小沼教育長

一番多く補助が出ているのは、生徒数が少ないみなみ学園義務教育学校で、9万円くらい出ています。旅行会社が言うには、全県の修学旅行の傾向として、大体9万円のうち、7万円近くは交通費と宿泊費になるそうです。インバウンドの関係で、ホテル代に1泊1万円以上出さないと京都には泊まれないということで、逆に旅行会社からは、茨城県内で修学旅行を実施できないか、という話があります。笠間市はコンテンツが揃っているんで、他県やほかの市町村に案内することが多いそうですが、1泊できるような施設がないので難しいところだということです。修学旅行委員会がしっかりしている市町村は、かかる費用を平均するのですが、難しいところはあると思います。一時期、笠間市では台湾に行けないか計画したのですが、一人当たり25万円程度という膨大な費用がかかるということで、あきらめた経緯があります。

鳥羽田委員

生徒数の少ない学校が合同で実施し、添乗員の費用を抑えるなどできないのでしょうか。

小沼教育長

以前より校長会には、小規模校が合同で遠足などを行えないか打診しています。教務主任同士で話し合ってもらい、そのような方向で進めていけないかと思っています。

廣原委員

加入していると安くいける組合があるのですが、そちらだと日にちも決められており、いいホテルも取れないということで、そちらを辞めて、少し高くても旅行会社で早めにとれる旅館にしたという学校もあります。

小沼教育長

笠間中学校などは、混む時期を避け中学2年生の2月に行きます。そうすると宿泊費を抑えられますね。

仁平学務課長

県経由で、交通事業者、主にバス会社から、実施時期を分散化してほしいという通知も届いています。バスの確保も難しいようです。

廣原委員 ただ、2月はインフルエンザが怖いですね。行けなくなってしまくと、やはりかわいそうだと思ってしまいます。

小沼教育長 校長会等で、取り上げてみてください。

小沼教育長 私から。今朝の茨城新聞にも載っていましたが、4月21日から小規模特認ということで、大原小学校で「朝の見守り」が7時から7時45分までの45分間スタートしました。予備調査では、新1年生を除いて約20名の希望者がありましたが、実際の状況は、新1年生1名だけの利用です。この1年生も、雨の日のみの利用という変則的なものですが、当面の間、指導主事と生涯学習課の社会教育指導員の1名ずつ2名体制で、6時45分から7時45分の1時間、預かりを実施しています。読売新聞からも取材があり、なぜ大原小学校なのかということだったのですが、来年から大原小学校を小規模特認校として、子育てに優しい学校という特認をしたいと思っています。笠間市内や他の市町村からも、子育てを大事にもらえる学校があるということで、転校転入も含めた形で受け入れることができたらいいと思っています。それから、大規模校である友部小学校から転入してくる子どもが一人でも増えれば、お互いに良い関係が結べるのではないかとということで、試行的に行っています。今のところ、ほかの学校に展開することは考えてなく、小規模特認ということで、大原小学校のみに絞っていこうと思っています。

小沼教育長 ほかにございますか。

各委員 (特になしの声)

(6) 閉会

小沼教育長 午後4時12分閉会を宣す。

10 議決事項

報告第4号	専決処分の承認を求めることについて	承認
報告第5号	専決処分の承認を求めることについて	承認
報告第6号	専決処分の承認を求めることについて	承認